

教育研究研修センターだより



通巻 No.270

令和3年5月17日（月）発行

令和3年度を迎えるにあたり

第1回校長会（令和3年4月16日開催）

菅野和良 教育長挨拶

令和2年度末の人事異動により、小学校23名、中学校8名、高等学校1名、計32名の新しい校長先生をお迎えしました。これまでの経験、高い識見を生かし、それぞれの学校において最高責任者として思う存分お力を発揮していただければと考えております。

また、すでに校長としてご活躍いただいている先生方には、新たにお迎えした先生方とともに、岡山市学校教育の向上、発展のために一致協力し、ご尽力賜りたいと存じます。

また、今年度は、新規採用の教職員を152名迎えました。すでに新鮮な風を送り込んでくれているものと思います。先輩が若手に「技と思いの伝達」が行えるようなOJTを推進し、先輩と若手がともに学び合える職場となるよう、また部下を輝かせる校長になっていただきたいということを期待いたします。

本日は第1回校長会開催にあたり、6点お話ししたいと思います。

1点目 教育の理念について

岡山市では、「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（岡山っ子育成条例）」の理念の実現に向け、様々な取組を行っています。これからも、「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」という縦のつながりと、「地域協働学校」という横のつながりが織りなす教育によって、子どもたちが自立に向かう力を育ててまいりたいと考えております。

2点目 教育大綱について

昨年度末、第2期岡山市教育大綱が策定されました。第1期岡山市教育大綱では、喫緊の課題として「学力の向上」と「問題行動等の防止及び解決」に取り組み、一定の成果が出ております。

無解答率の更なる減少、一度学習したことの定着等ご対応のほど、よろしく願いいたします。すべての先生で取り組んでいくということは、今後も変わりありません。先行きの見通せない日が続きますが、子どもの学力保障等について、よろしく願いいたします。

問題行動等の防止及び解決につきましては、各校で未然防止及び早期対応に向けて、懸命な取組を進めていただいております。一人一人の子どもにとって、学校が安心して充実した場となるよう、前向きな行動をしっかりと褒め、「命」や「法律」、「人権」にかかわる不適切な言動に対しては毅然と叱るということを通して、子どもたちの健全育成に粘り強く取り組んでいただきたいと思います。不登校への対応についても、引き続き、未然防止に向けた全校共通の取組と家庭や地域との連携をお願いいたします。

また、第2期岡山市教育大綱には、子どもたちが将来、それぞれの立場で社会に貢献し、自他の幸せを創造できることを目指すという、子どもの将来像、我々の使命である人材育成の項目が入っています。子どもたちが自分の良さを発揮し、様々な判断の場面で自分にとって最適な選択をし、たとえ困難なことがあっても粘り強く挑戦を繰り返すことができるよう育ててほしいと考えております。「個性」と「選択」、そして「挑戦」というキーワードを通して、「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の5つの力を育て、高めていただきたいと思います。授業では、タブレットの活用が本格的になり、自分の知識と様々な情報とをつなぎ合わせて考えたり、表現したりする学習がさらに進むと考えています。また、自分から課題を見つけて解決に取り組む学習活動や、「地域協働学校」によって地域の中で育む力、目指す姿を共有して取り組むことも重要です。あわせて、そうした学習活動に取り組むのは総合的な学習の時間であり、効果的なESDの取組が挙げられます。さらに、キャリア教育も大切です。ただ、何か新しいものを構築するのではなく、これまで各校で積み重ねてきた実践を第2期岡山市教育大綱に照らし合わせて再

構築するということが重要です。指標がありますので、そこは新たな取組となるかもしれません。

校長先生方におかれましては、将来を担う子ども一人一人が世の中に出たときに、それぞれの立場で社会に貢献し、自分も他人も幸せになれる世の中を創っていく、そうしたことを目指し、リーダーシップを発揮しながら教職員一体となって取り組んでいただくとともに、学校と教育委員会がチーム岡山市として一丸となって子どもの力の育成に努めたいと考えております。

3点目 G I G Aスクールについて

今年度は、1人1台端末の本格的な運用が始まるG I G Aスクール元年と言えます。岡山市教育研究研修センターに「情報教育推進室」を新設しており、教員のI C T活用指導力の向上とともに、児童生徒の情報活用能力の育成を図り、教育の情報化を推進してまいります。具体的には、昨年度末にG I G Aスクール構想を踏まえ、改訂を行った「岡山市立学校における情報化基本方針」の周知・徹底、効果的なI C T活用に関する各種研修の充実、I C T支援員やI C Tヘルプデスクによる学校への人的支援等の取組を行ってまいります。学校におかれましては、まずは「1日1回以上」を合言葉に、できるところからの1人1台端末の活用を進めていただきたいと思います。

4点目 新型コロナウイルス感染症拡大防止について

昨年度、各学校においては、様々な対応や実態に合わせて「3密」を回避しながら、工夫を凝らした学校行事を行っていただきました。先生方のご努力に、改めて敬意を表します。このところ感染者が増加するとともに、感染力が非常に強い変異種による感染者の報告も増えています。そのような中での新学期のスタートとなっていることから、感染に対する不安をもっている保護者も多いと思われます。各学校において「感染への不安」を理由に欠席していた児童生徒は、3学期末には減少しておりましたが、新学期のスタートに際しての各学校の様子はいかがでしょうか。そのような家庭には、「何が不安なのか」「どういったことが課題になっているのか」「不安を解消するために学校としてどのようなことができるのか」といったことを共に考えるという立場で引き続き丁寧に関わっていただきたいと思います。そして、学校は安全な所、安心して通わすことができるという思いをもっていただけるよう各学校での取組を工夫する等お力添えをいただきますようお願いいたします。児童生徒への手洗いやマスクの着用などの指導、感染対策を講じた学習活動の工夫、放課後や掃除時間を活用しての消毒作業など負担になることも多いと思いますが、子どもたちが安心して通うことができる学校運営を引き続きよろしく願います。

5点目 人権への配慮について

コロナ禍の中で大切にしなければいけないのが、人権への配慮です。昨年、2学期の始業式に合わせて、新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮についてメッセージを出しました。各学校で人権への配慮について繰り返し指導してくださったことで、新型コロナウイルス感染症に関する人権侵害についての報告は受けていません。しかし、身のまわりで感染の可能性が高まった場合や人権への配慮にゆるみが出た時には、誰しも人権について正しい判断ができにくくなります。今年度も、引続き教職員が人権感覚のアンテナを高め、児童生徒に対して適切な指導ができるよう繰り返しの校内研修をお願いいたします。

6点目 危機管理について

子どもたちの学力向上、学力保障は義務教育の根幹であり、学校の使命として最も大切なことであります。問題行動等の防止、解決も重要であり、働き方改革も大切です。しかし、その前に、子どもたちが家を出て学校に来て生活し、そして帰宅するまで元気で無事にいてほしいと考えるのは保護者、市民の共通した願いです。教職員の安全・安心な生活についても同じことです。校長先生をはじめ学校で生活する全ての方々の安全・安心がまずは基本です。子ども一人一人が行うこと、一教職員が行うこと、学校全体で取り組むこと、地域や保護者と連携して行うこと、教育委員会と連携して行うこと等を学校できちんと整理していただき、事件・事故を未然に防ぐ、また仮に起きてもその対応に間違いのないようにと願っております。安心・安全という視点で学校内外において気になる所があれば、早めに手を打っていただきたいと思います。この4月1日から自転車条例が施行されております。これについても様々な場面をとらえて子どもたちへ安全への意識を高めることを啓発していただきたいと思います。また教職員の心身の健康管理も校長先生方が取り組む大きな責務であると捉え、十分ご留意いただきたいと思います。

映像資料

「先輩から学ぶ 一授業の基礎・基本」のご紹介

令和3年3月に映像資料「先輩から学ぶ 一授業の基礎・基本」を岡山市立小・中学校に配付しました。この映像資料（DVD）は、「導入からめあて」「指示や説明」「板書」「まとめ」について学ぶことができるよう、各内容をそれぞれ10分程度ずつ「小学校」と「中学校」ごとに収録しています。どの内容からも、授業の手立て、授業者のねらい、子どもとの関わり方のヒントを得ることができます。

例えば、次のように活用してはどうでしょうか。

活用例 1

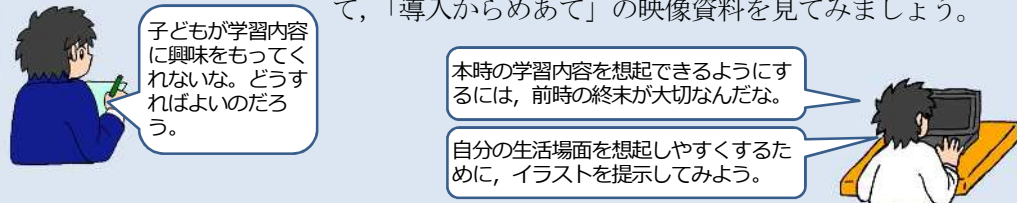
「日頃の悩み」をもとにした視聴

子どもが学習内容に興味をもってくれないな。どうすればよいのだろう。

導入の場面で「子どもが本時の学習内容に興味をもつために、何に気を付けるとよいのだろう？」という悩みについて、「導入からめあて」の映像資料を見てみましょう。

本時の学習内容を想起できるようにするには、前時の終末が大切なんだな。

自分の生活場面を想起しやすくするために、イラストを提示してみよう。



活用例 2

OJTの中で視聴

OJTで「板書」の映像を見て協議しましょう。

授業後に学習内容が分かりやすい板書にするには、どうすればよいのだろう。先輩に相談してみよう。

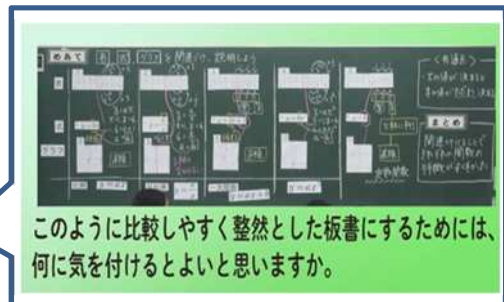
板書を見るだけでどんな学習が展開されたのか想像できるね。

掲示物を準備することで、生徒が比較しながら説明することができるようにすればいいんだな。

生徒の説明の言葉を線で結んで関連付けることで、視覚的にわかりやすくなるんだな。



【実際の映像例】



若手教員が授業の具体的なイメージをもつために活用するだけでなく、OJT等でもぜひご活用ください。

授業開発支援ルーム について

教育研究研修センターの4階にある授業開発支援ルームは、先生方の授業づくりや様々な研究・研修のお手伝いをさせていただく場所です。

理科の貸し出し教材 及び 提供教材

貸し出し教材

- (1) 「月の満ち欠け実験器」
- (2) 「地層標本」
- (3) 「枠なし地球儀と日本につける大地」
- (4) 「消化と吸収のモデル観察教材」
- (5) 「露点比較実験器」
- (6) 「金星のシミュレーション教材」
- (7) 「地震波計測装置」
- (8) 「遮断式反射実験器」
- (9) 「眼のモデル実験器」



【眼のモデル実験器】

※ (1),(2)は小学校向け、
(1)～(9)は中学校向けです。
※貸し出し期間は1校あたり2週間です。

提供する教材

- (1) 「火山灰」(鹿児島県桜島, 鳥取県大山, 各1本)

◇ 理科の貸し出し教材の活用方法を示した資料や開発した貸し出し教材については、C4t h書庫に掲載しています。

教材開発プロジェクト について

授業実践に効果的な教材や、特別な支援を必要とする児童生徒のための教材等を開発し、貸し出しや提供をしています。

新たな教材等の提供を希望される場合には、ご相談ください。



【たし算ドミノ】

カードを操作して、10になる数の組み合わせをつくることで、数の合成を身に付けることができます。



【食材カード】

食育や家庭科で取り上げられる食材をカードにししました。ラミネート加工をしています。

新着図書紹介

新しい図書が入りました。図書・DVDの貸し出し期間は1週間です。貸し出し状況により、延長することができますので、お問い合わせください。貸し出し、返却に学校メール便は使用できませんので、来所ください。

小学校 授業編

題名	著者
1 小学校国語「見方・考え方」が働く授業デザイン	小林 康宏
2 めあて&振り返りで見る算数授業のつくり方	盛山 隆雄
3 社会科授業づくりトレーニングBOOK 板書計画・ICT活用・ノート指導編	澤井 陽介 他
4 主体的・対話的で深い学びをつくる! 体育授業「導入10分」の活動アイデア	鈴木直樹 中村なおみ 大熊誠二
5 こだわりの道徳授業レシピ	浅見 哲也
6 イラストで見る全単元・全時間の授業のすべて 生活 小学校2年	田村 学
7 ICT×思考ツールでつくる「主体的・対話的で深い学び」を促す授業	新潟大学教育学部附属新潟小学校

中学校 授業編

8 必ずうまくいく中学校数学全単元の導入ネタ事典	『数学教育』編集部編
9 技術・家庭 授業づくりシリーズ第4巻 授業のSUGO(すご)わざ 技術分野+家庭分野	代表 中村 祐治
10 ここで差がつく! 英文ライティングの技術 英語は I ではじめるな!	鈴木 健士

小中学校 共通

11 はなれていても、だいじょうぶ 今こそ伝えたい 院内学級で教員として学んだこと	副島 賢和
12 障害に応じた通級による指導の手引 解説とQ&A	文部科学省 編著
13 2E教育の理解と実践 発達障害児の才能を活かす	松村 暢隆
14 若手教員の力を引き出す 研修でつかえる生徒指導事例50	藤平 敦
15 今すぐ使える! Google for Education 授業・校務で使える活用のコツと実践ガイド	イーディーエル株式会社

教材や図書の貸し出しや提供、閲覧については岡山市教育研究研修センターまでお問い合わせください。(086)944-7255